

平成21年度一般会計当初予算 前年度比0.7%減の65億9447万5千円

歳入 (単位:百万円)

	平成21年度	平成20年度	増減
町税	546	562	△16
地方交付税	3,300	3,200	100
国県支出	1,084	1,210	△126
繰入金	310	338	△28
地方債	814	763	51
その他	540	567	△27
合計	6,594	6,640	△46

歳出 (単位:百万円)

	平成21年度	平成20年度	増減
議会費	55	55	0
総務費	1,052	930	122
民生費	1,268	1,286	△18
衛生費	328	431	△103
労働費	14		14
農林水産業費	764	805	△41
商工費	141	40	101
土木費	857	869	△12
消防費	238	213	25
教育費	342	362	△20
災害復旧費	170	361	△191
公債費	1,157	1,261	△104
諸費	193	12	181
予備費	15	15	0
合計	6,594	6,640	△46

〔歳入〕
町は集中改革プランに基づき行政改革に取り組んでいるが、それを上回るペースで国の歳出削減が続いている。

合併支援措置も段階的に減ってきており、残すは普通交付税の特例と合併特例債のみとなった。

〔歳出〕
すべての職員が厳しい財政状況を認識し、まちづくり計画に沿って町民生活第一を基本に予算編成を行っている。

歳出 (単位:百万円)

	平成21年度	平成20年度	増減
人件費	1,273	1,232	41
物件費	895	1,075	△180
扶助費	346	227	119
補助費等	739	684	55
普通建設事業費	1,342	1,250	92
災害復旧費	169	361	△192
公債費	1,157	1,261	△104
繰出金	412	478	△66
その他	261	72	189
合計	6,594	6,640	△46

問 片岡議員
ゆの森のレストラン備品755万円だが、ゆの森に金が要りすぎとの声もある。執行部の考えは。

答 町長
町の顔として全国的に知られてきた。地元食材を年間1000万円利用し、二十数人の雇用もある。吾川地域振興基金を活用している。

問 片岡議員
緊急雇用創出事業の道路周辺等環境整備事業の説明を。

答 産業建設課長補佐
町道の高枝打ちや除去作業で、三人を雇用予定。

21年度一般会計予算
65億9447万5000円とする。

町道の管理作業に3人雇用

問 農本議員
ふたば保育所新築で、太陽光発電の取り組みはどうなったか。

答 仁淀健康福祉課長

問 大原議員
池川自然学園の施設管理委託料が昨年より300万円の減だが、委託先は使命を果たせるか。

答 教育次長
充分協議している。利用料の値上げや補助事業を活用する。

金の掛け過ぎ

問 大原議員
県の補助事業で四月中旬に計画書を出す予定。

自然学園の委託料減は再考を

ふたば保育所に太陽光発電を

問 西森(常)議員
ゆの森の借金は95%バック

答 総務課長
95%充当できる。

問 西森(常)議員
ゆの森改修工事債はどのくらい戻るか。

答 池川地域振興課長

清流まつりと茶霧湖まつりの補助金の差は

問 西森(常)議員
清流まつり負担金150万円、茶霧湖まつり350万円の差は。

問 大原議員
現場の意見を聞き善処してほしいが、国や県へ助成の働きかけは。

答 副町長
重要な施設で、常に働きかけており、今後も取り組む。

事業規模で算出。

問 西森(常)議員

子どもの基礎学力、基礎体力を着けるための予算は。

答 教育長

施設整備や自主的に教員が研究を進める教育研究会。特別支援員を2人から6人に増員など。

補習授業

問 西森(常)議員

教育研究所の先生が、休日に補習をするなど、目に見えた活動はできないか。

答 教育長

教育研究所は、各学校や地域教育推進協議会に向いている。教育相談員は一人で、三十一人の相談を受け持っている。四月に交代する研究員は、保小中高連携の研究を中心に予定。

問 西森(常)議員

教育長の力で学校は変

わる。やる気の沸く指導をしているか。

答 教育長

学校へ出向き、教員と

事は一年目で屋根がダメになった。業者の責任は。



過疎、少子化が進むなか、教育への期待は大。(仁淀教育事務所)

面談をするよう努めている。今後も頑張っていきたい。

答 仁淀支所長

問 西森久雄議員

長者複合施設屋上防水工事955万5000円だが、17年6月の防水工



17年は外壁工事が主で、屋上は十分でなかった。今後は、補償期間を取る。

問 大原議員

定額給付金と併せて地域振興券を販売しては。

答 副町長

商工会の振興策も、より良い方向で地域の活性化につながるよう取り組む。

(可決 全員)

■21年度国民健康保険特別会計予算

10億6381万円とする。(可決 全員)

■21年度国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定予算

2億2152万6000円とする。(可決 全員)

■21年度老人保健特別会計予算

240万2000円と

する。

(可決 全員)

■21年度介護保険特別会計予算

11億4660万円とする。(可決 全員)

■21年度簡易水道事業特別会計予算

7034万3000円とする。(可決 全員)

■21年度農業集落排水事業特別会計予算

6734万9000円とする。(可決 全員)

■21年度後期高齢者医療特別会計予算

1億4494万7000円とする。(可決 全員)

■町道の認定

路線名 町道中宮線
最大幅員 9・7m
最小幅員 3m

延長 1536m (可決 全員)

■落石事故の和解

20年9月30日に林道小田池川線で落石事故が発生し、建物と車に損害を与えた事故の和解

内容

(一)町は相手方に115万700円を支払う。
(二)今後、一切の債権債務関係のないことを確認する。(可決 全員)

■人権擁護委員候補者の推薦



住所 仁淀川町竹ノ谷九三四番地
氏名 谷 眞積
生年月日 昭和18年7月12日生
(適任 全員)



ここが聞きたい② Q & A

— 第1回 臨時会 —

平成21年、第1回臨時議会は、1月26日に開かれ、2議案を原案どおり可決した。

■共聴施設デジタル化 改修資金貸付金条例

地上デジタル放送を良好に受信できない地域に、共同受信施設の新設・改修を、住民の自治組織等が行う必要経費に対し、NHKが組合に補助することになっているが、実際に補助されるまでは組合負担となるため、住民負担の軽減へ町が一時的に貸し付けることができるよう条例を制定するもの
(可決 全員)

■平成20年度一般会計 補正予算(第5号)

261万1000円を追加し、総額を7億8853万2000円とする
主な補正は、NHKの補助制度の創設に伴い、町からの地デジ対策補助金887万1000円を減額し、NHKの補助を受けるまで組合へ一時貸付として、貸付金850万円。池川地区の茶生産組織に機械整備が補助事業に採択され298万2000円の補正。

問 大原儀郎議員
機械化の内容は。

答 池川地域振興課長
動力噴霧機3台、裾落とし機1台、剪枝機1台。

問 大原議員
増設ということは、相
当な収益が見込まれるか。

答 池川地域振興課長
約120aの規模拡大



動力噴霧機

問 大原議員
全く新しい方式の取り
入れでなく、既存の物の
補強ということか。

の予定で、試算では10a
当たり70万円程度。経費
もかかるので70万円が収
入にはならない。
(可決 全員)

答 池川地域振興課長
茶園管理集団への導入
で、面積の規模拡大に伴
う機械の増設。

■農業委員会委員の選 任

氏名 西森常晴
氏名 野村安夫

別府小、2・3年生が複式

名小は、1・2年、3・4年、5・6年が完全複式

—児童数減に歯止めはかからず—

委員会の報告 教育長 大野 敏光

新入生は45人

新年度の児童生徒数の状況は、小学校五十八人が卒業、四十五人が入学予定。別府小では二・三年生が複式、名野川小は、一・二年、三・四年、五・六年生の完全複式となる。中学校は五十二人が卒業し、五十三人が入学予定。

小・中学生の体力は全国レベル

学習指導要領の改訂で二十一年度に小学五・六年生の外国語活動が年間十時間程度で実施予定。昨年夏の小学五年、中学二年生の体力、運動能力、運動習慣の全国調査結果が発表され、高知県は全国最低レベルで課題が残る。本町は全国レベル。特別支援教育支援員の配置を六校で予定。

保育所業務を委員会が

仁淀、吾川地区の保育所の民営化で、教育委員会が業務を所管する。保育児童対策係を新設し、保育、小、中学校の連携を密にし学力向上に取り組む。

家庭教育支援

家庭教育支援の充実を図るため、地域教育推進協議会やPTA、各学校区ごとの地域教育組織と

連携し、家庭教育支援の基盤の形成を県の補助を受け推進する。

仁淀高校が募集停止

仁淀高校が募集停止で進学は町外高校となる。町は通学支援を行うため、条例並びに予算を計上。支給対象者は、町内に住所を置き、町内より通学する新一年生で、三年生まで支給、二十一年度より五年間とする。

奨学資金

耐震診断

仁淀川町奨学資金貸付規則の一部を改正、貸付限度額の見直しを行い、利用を呼びかけている。小、中学校の耐震対策は、本年度は大崎小校舎、二十一年度は大崎小、別府小、仁淀中体育館の診断と設計。別府小体育館は、耐震性数値が極めて低く、全面的な改築となり、工事は二十二年度へ。



今年から保育所は社協に委託。(ふたば保育所)

意見書

地方の道路整備の着実な推進を求める意見書



上久喜のみなさんが真心を込めて植樹した「桃」の花が、今年は一ときわ美しく咲きました（上久喜）

日記帳

21年	1月2日	成人式	23日	道路整備促進期 成同盟会臨時総 会(高知市)	15日	吾川中卒業式
	20日	議会だより特別 委員会	25日	県議長会第60回 定期総会(高知 市)	19日	自然学園卒園式 行政改革推進委 員会
	25日	消防出初式	3月1日	仁淀・佐川高校 卒業式	20日	町内全小学校卒 業式
	26日	第1回臨時議会 全員協議会	3日	議会運営委員会	22日	名野川保育所卒 園式
	27日	議会だより特別 委員会	8日	河嶋山神社落成 行事	25日	吾川郡議長会
	2月7日	森老人クラブ建 国祭	10・11・13日	第2回 定例議会	27日	議員全員協議会
	13日	県議長会監査・ 理事会(高知市)	12日	議員全員協議会	31日	広域議会
	22日	秋葉祭り県文化 賞受賞祝賀会	14日	仁淀中・池川中 卒業式		

コラム



14回目の春

「川が綺麗やで見に行こう」と言われ
軽い気持ちで行ったものまさか一家
で移り住むとは、夢にも思いません
でした。

14回目の春と共に目の前には、月日
を感じさせない桜が美しく舞っていま
す。

「山師になる」と言う主人の言葉に驚
きつつも一才と三才の幼子を連れて旧
池川町に來たのが昨日の事の様です。
世間で言うIターンなので親戚知人
もなく不安で一杯でしたが周りの方の
温かい支えのお陰で私達
家族は、14年間過ごす事
が出来ました。
その子達もいつか巣立
って行くでしょうが、そ
の時にここがみんなの故郷なんだと思
える様、この素晴らしい自然と共にい
つまでも笑顔で「おかえり」と言っ
て待っていたと思います。

見ノ越 松本 直美

編集後記

木々の若葉は日に日に
深くなっています。空は
青く、前に進む力を与え
てくれるようです。(三鈴)

四月から編集委員にな
りました。よろしくお願
いします。(安井)

空き缶のリサイクルで
池川中表彰。これまでの
ごみが車いす6台に、笑
顔の輪も広がる。(福原)

近年、地球の温暖化が
進んでいるが、桜の咲く
彼岸頃の花冷えは、身体
に大きく影響する。(野村)

若葉の黄緑と杉、松の
緑がくつきり、やはり多
い緑、せめて半分、鮮や
かな黄緑の山に。(片岡)

新たな花の名所に上久
喜の花桃、白やピンクで
山が覆われていました。
あとは道路整備。(農本)

新緑の季節となりました
。この快感は都会では
味わえません。山に順風
よ吹け (西森(常))